

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月4日

上場会社名 愛知電機株式会社
 コード番号 6623 URL <http://www.aichidenki.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 功
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 小林 和郎
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 名

TEL 0568-31-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	12,931	△17.5	372	69.6	563	225.6	255	—
21年3月期第1四半期	15,670	—	219	—	173	—	△262	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	5.32	—
21年3月期第1四半期	△5.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	60,656	27,686	45.1	568.51
21年3月期	62,160	27,254	43.3	559.51

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 27,361百万円 21年3月期 26,929百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	26,000	△16.0	50	△91.0	200	△72.2	50	△58.7	1.04
連結累計期間	54,000	△7.8	300	△21.7	600	39.5	100	—	2.08

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	48,252,061株	21年3月期	48,252,061株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	123,169株	21年3月期	122,147株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	48,129,514株	21年3月期第1四半期	48,137,763株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定を前提としているため、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、在庫調整の進展などにより輸出や生産に持ち直しの動きがあるものの、企業収益の減少に歯止めがかからず、設備投資の抑制や雇用情勢の悪化などが進み、極めて厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当グループの売上高につきましては、129億3千1百万円となり、前年同期に比べ17.5%の減少となりました。

事業の種類別セグメントの売上高につきましては、電力機器部門は、電力会社向け小形変圧器や制御機器などが増加したことから、67億5千4百万円と前年同期に比べ7.4%の増加となりました。

回転機部門は、景気悪化の影響を受け、国内向け小形モータやプリント配線板などが減少し、61億7千7百万円と前年同期に比べ34.1%の減少となりました。

利益面につきましては、業務効率の向上や諸経費の削減を強力に進めてまいりました結果、売上高は減少しましたが、営業利益は3億7千2百万円と前年同期に比べ69.6%の増加、経常利益は5億6千3百万円と前年同期に比べ225.6%の増加となりました。また、四半期純利益は、前年同期に比べ5億1千8百万円増加し、2億5千5百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における資産合計は、606億5千6百万円と、前連結会計年度末と比べ15億3百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金が17億3千7百万円減少したことによります。

負債合計は、329億6千9百万円と、前連結会計年度末と比べ19億3千6百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が11億7千3百万円、有利子負債が3億1千5百万円減少したことによります。

純資産合計は、276億8千6百万円と、前連結会計年度末と比べ4億3千2百万円増加しました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末と比べ1.8ポイント増加し、45.1%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月14日の決算発表時点から変更ありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、これに伴う損益に与える影響はありません。

(追加情報)

一部の連結子会社の役員退職慰労引当金については、従来、役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額の100%を計上しておりましたが、平成21年開催の定時株主総会終結の時をもって役員退職慰労金制度を廃止しております。

同制度廃止に伴い、在任期間に応じた役員退職慰労金の打ち切り支給を同株主総会で決議し、役員退職慰労引当金残高を、固定負債の「その他」に計上しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,047	10,375
受取手形及び売掛金	13,269	15,007
有価証券	900	900
商品及び製品	3,155	3,378
仕掛品	3,256	2,933
原材料及び貯蔵品	3,704	4,001
繰延税金資産	71	223
その他	393	374
貸倒引当金	△32	△31
流動資産合計	35,766	37,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,020	8,164
機械装置及び運搬具(純額)	3,296	3,517
工具、器具及び備品(純額)	627	639
土地	4,240	4,240
リース資産(純額)	289	293
建設仮勘定	160	217
有形固定資産合計	16,634	17,071
無形固定資産	136	116
投資その他の資産		
投資有価証券	4,952	4,594
繰延税金資産	2,451	2,495
その他	868	876
貸倒引当金	△153	△157
投資その他の資産合計	8,118	7,809
固定資産合計	24,889	24,996
資産合計	60,656	62,160

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,266	11,439
短期借入金	5,142	4,147
1年内返済予定の長期借入金	1,423	2,463
1年内償還予定の社債	125	250
未払費用	1,326	1,586
未払法人税等	208	391
その他	930	778
流動負債合計	19,423	21,056
固定負債		
長期借入金	5,577	5,733
繰延税金負債	101	94
退職給付引当金	6,894	6,997
役員退職慰労引当金	22	281
負ののれん	86	91
その他	864	650
固定負債合計	13,546	13,849
負債合計	32,969	34,905
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,053	4,053
資本剰余金	2,199	2,199
利益剰余金	20,427	20,316
自己株式	△25	△25
株主資本合計	26,654	26,543
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	774	576
為替換算調整勘定	△67	△191
評価・換算差額等合計	707	385
少数株主持分	324	325
純資産合計	27,686	27,254
負債純資産合計	60,656	62,160

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月 30 日)
売上高	15,670	12,931
売上原価	14,103	11,311
売上総利益	1,567	1,619
販売費及び一般管理費	1,347	1,247
営業利益	219	372
営業外収益		
受取利息	9	3
受取配当金	35	41
持分法による投資利益	63	47
負ののれん償却額	7	5
為替差益	—	123
屑消耗品売却額	42	9
その他	31	32
営業外収益合計	189	264
営業外費用		
支払利息	62	57
為替差損	131	—
その他	41	16
営業外費用合計	236	73
経常利益	173	563
特別利益		
固定資産売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	3	—
その他	0	—
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産売却損	—	5
固定資産除却損	2	8
投資有価証券評価損	—	6
たな卸資産評価損	271	—
その他	8	1
特別損失合計	282	21
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△105	542
法人税、住民税及び事業税	59	208
法人税等調整額	110	81
法人税等合計	170	290
少数株主損失(△)	△13	△3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△262	255

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。